



高品質米生産のパートナー

殺菌・
植物成長調整剤



フジワン[®] 粒剤

「フジワン」のキャラクター
ふじわんこです



特設サイトを開設しました



フジワンの植調作用を
動画でわかりやすく解説!!



アクセスはこちらから→

<http://www.nichino.co.jp/products/data/fujione/>

いもち病防除に!

稲体への吸収移行性が高く、
穂いもちに対し安定した効果を発揮します。

健苗育成に!

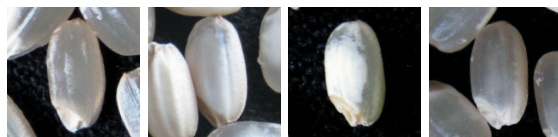
発根を促進し、マット形成の良い苗をつくります。
根の活力が高まり、ムレ苗も防ぎます。

登熟歩合向上に!

根の活力を高め老化を抑えることにより、**低温、日照不足や高温等**の不良環境下で登熟を高めます。

白未熟粒の発生軽減に!

出穂後の高温で増加する**白未熟粒**の発生を減少させます。



完全粒 乳白粒 腹白粒 基部未熟粒



〈写真はイメージです〉

殺菌・
植物成長調整剤

フジワン[®] 粒剤

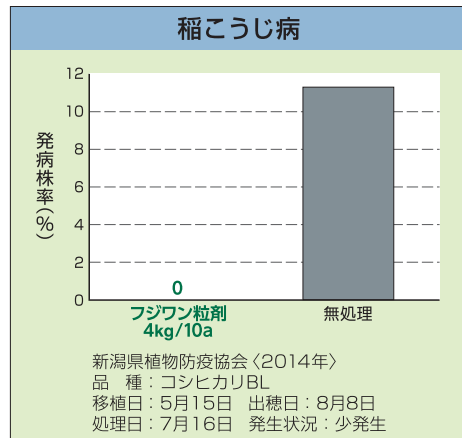
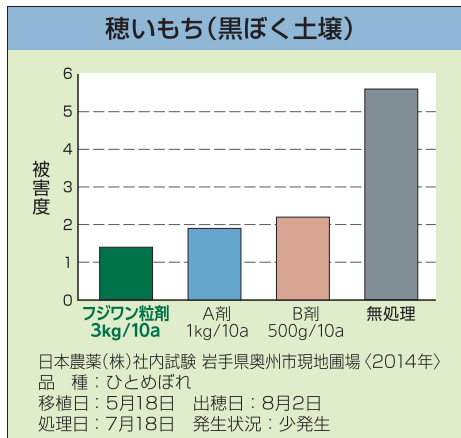
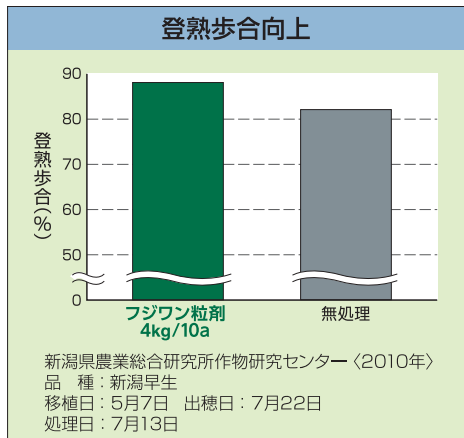


有効成分：イソプロチオラン…12.0%

殺菌剤分類 6

安全性：普通毒（毒劇物に該当しないものを指していう通称）

試験成績



適用病害虫・使用目的および使用方法(抜粋)

■は2022年12月適用拡大

○2022年12月現在の登録内容

| 作物名 | 適用病害虫名・使用目的 | 使用量 | 使用時期 | 本剤の使用回数 | 使用方法 | イソプロチオランを含む農薬の総使用回数 |
|--|------------------------|--|--|---------|--------------------------------|---------------------------------|
| 稲 | 登熟歩合向上 | 3~4kg/10a | 出穂10~20日前 但し、収穫30日前まで | 2回以内 | 湿水散布 | 3回以内 (移植前は1回以内、 本田では2回以内) |
| | 高温登熟下における 白未熟粒の発生軽減 | 4kg/10a | | | | |
| | いもち病 | 3~5kg/10a | 葉いもちに対しては 初発7~10日前 穂いもちに対しては 出穂10~30日前 但し、収穫30日前まで | | | |
| | | 育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50~75g | 苗の緑化期から 移植直前まで | 1回 | 本剤の所定量を育苗箱中の 苗の上から均一に散粒する | |
| | 小粒菌核病 | 4~5kg/10a | 出穂10~30日前 但し、収穫30日前まで | 2回以内 | 湿水散布 | |
| | 稲こうじ病 | 3~4kg/10a | | | | |
| | ムシ苗防止 | 育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り15g | は種前 | 1回 | 本剤の所定量を所要量の 育苗箱用の床土に均一に混和する | |
| 育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り25~50g | | 苗の緑化始期 | 本剤の所定量を育苗箱中の 苗の上から均一に散粒する | | | |
| 根の伸長および発根促進 | | | | | | |

(詳しくは製品ラベルをご確認ください)

注意事項

- 極端な漏水田での使用はさけてください。
- 所定量を均一に処理してください。
- 本田で使用する場合は次の事項に注意してください。
 - ① 散布に当たっては、田水深を3cm以上の湛水状態とし、散布後少なくとも3~4日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
 - ② いもち病に対して予防的に散布した場合には有効であり、葉いもち防除の使用適期は初発の7~10日前です。発生予察情報に注意して時期を失ないように早目に散布してください。穂いもち防除の使用適期は出穂20日前（葉いもちの発病程度、気象条件などにより出穂10~30日前）です。
 - ③ いもち病を主体に小粒菌核病との同時防除に使用できますが、多発時の小粒菌核病（小黒菌核病）には効果が不十分なことがあるので注意してください。
 - ④ 小粒菌核病に対しては時期を失しないようになるべく早目に散布してください。
- 育苗箱で使用する場合は次の事項に注意してください。
 - ① 苗の上から均一に散粒し、直ちに上から灌水して粒を崩してください。なお、最初の灌水で粒を崩壊させないとその後の乾燥により粒が硬化して崩れ難くなるので注意してください。
 - ② いもち病に対して使用する場合は、移植後およそ6週間を経過すると葉いもちに対する防除効果が弱まるので、移植後葉いもち発生までの期間を考慮して使用してください。なお、天候不順等で葉いもちの発生期間が長びく場合、又は葉いもちの発生が遅れた場合には必要に応じて本田でいもち防除剤を追加散布してください。
 - ③ いもち病に対しては、苗の緑化期から移植直前まで使用できますが、箱内の苗いもちも合わせて予防するためには、緑化期から硬化初期に散粒してください。但し、その場合本田で安定した葉いもち防除効果を得るためには1箱当り75gを処理することが望ましいです。
- ムシ苗防止に使用する場合は次の事項に注意してください。
 - ① 育苗中の低温による根の吸水低下や高温による蒸散増加など、吸水と蒸散の不均衡によって起こるムシ苗（生理的な急性萎凋障害）に対して有効ですので、このようなムシ苗の発生する地域で使用してください。
 - ② 苗立枯病には効果がないので、育苗に際して苗立枯病が発生する恐れがある場合は、それらに有効な薬剤と体系処理をしてください。
 - ③ は種前又は苗の緑化始期にいずれか1回処理してください。
- 稲の登熟歩合向上を目的として使用する場合は、低温等生育不良条件下及び高温登熟条件下で効果的なので、これらの条件下で使用することが望ましいです。
- 稲の高温登熟下における白未熟粒の発生軽減を目的として使用する場合は、高温登熟条件下で効果的であるので、この条件下で使用してください。
- 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。
- 使用の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。
- 散布後は河川、養殖池等に入らないよう水管理に注意してください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載内容以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届くところには置かないでください。
- 使用後の空袋等は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

LINE公式アカウントははじめました!

友だち募集中 最新情報をLINEで配信!

@nichino

NICHINO 東京都中央区
京橋1丁目
日本農薬株式会社 19番8号
TEL: 0570-09-1177 URL: <https://www.nichino.co.jp/>

2024年9月作成版 (ZN) AF12409S